

『県立広島大学 大学教育実践センター紀要』 執筆要領

1. 本誌に掲載される論文等1編の分量（表題、著者名、図表等含む）は、原則として以下を目安とする。ただし、編集委員会が認める場合は、この限りではない。
 - ① 論文：20000字まで（刷上り13頁程度）
 - ② 実践研究：10000字まで（刷上り7頁程度）
 - ③ 活動報告：10000字まで（刷上り7頁程度）
 - ④ 資料：6000字まで（刷上り5頁程度）
2. 原稿はワープロソフトによって作成し、デジタルデータおよび印刷物で提出する。
3. 原稿は、A4判の横書きを原則とし、編集委員会作成の書式に従い執筆する。
4. 和文の場合は、原則として、44字×37行にて作成する（1頁1628字）。欧文の場合もそれに準じる。表題、所属、氏名は、5行までに収める。
5. 原稿書式として、マージンは上25mm、下30mm、左・右25mmとする。本文の使用フォントは、日本語はMS明朝、英字・数字はTimes New Romanとし、表題はゴシック体とする。フォントサイズのポイントは、表題は14ポイント、所属・氏名・副題は11ポイント、本文は10.5ポイントで作成する。
6. 句読点について、和文には全角「、」「。」を使用し、欧文には半角「,」「.」を使用する。
7. 引用文献、参考文献の表示の仕方は、各学会のルールに従う。
8. 投稿原稿は完成原稿とし、校正段階での内容の変更は原則として認められない。
9. 校正は執筆者の責任にて行う。その際、内容や表記に関して、編集委員会からの指示があれば、それに従うこととする。